

Digital Konsensus Pro 処理液の作り方

! 作業中は保護メガネ・手袋を必ず着用してください。
(保護メガネ・手袋は装置に標準付属されています。)

現像	DK5-CD	2箱
現像スターター	DK5-01	1箱
定着	DK5-BF	1箱
安定	DK5-SR	1箱

1

電源を切り、処理液を抜きます。
現像・定着・安定ラックを取り外し、
清掃してください。(ぬるま湯の方がきれいになります)

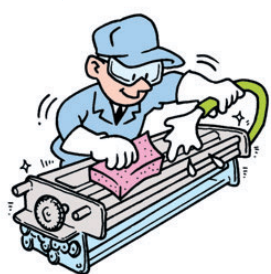
現像

定着

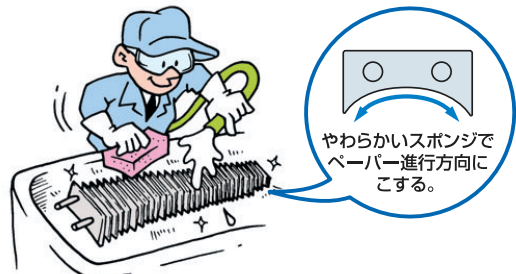
安定

- タンクが空の状態でも電源を入れないでください。(ヒーターが入り空だきの原因になります)
- 電源を入れる前に循環フィルターキャップを必ず閉めてください。(液が吹き出し、ショートなどの事故が起きます)

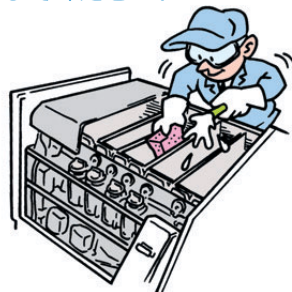
●現像ラックは特によく洗ってください。



●渡りガイドも洗いましょう。



●水が飛び散らないように注意してください。



●循環フィルターの交換もお忘れなく。



●処理液を抜いた後はドレインコックを閉めましょう!

●一度タンクに水(ぬるま湯)をため、循環させることをお勧めします。

2

安定1、2、3ラックをそれぞれのタンクへ戻し、DK5-SRを以下の量だけ投入します。

安定

2ℓ ▶ 安定1
2ℓ ▶ 安定2
2ℓ ▶ 安定3

(残りの安定液は安定補充タンクに入れます。)

●ビーカーを使って測ります。



●ロートを使うと作業がしやすくなります。



3

さらに水をオーバーフローするところまで加えます。
(安定1、2、3タンクすべてに対して行なってください。)

安定

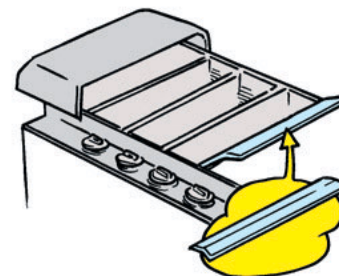
4

定着

定着ラックを定着タンクへ戻し、DK5-BFをオーバーフローする位置よりも約5cm位低いところまで投入します。

- 定着液が現像タンクに入ると色調不良を起こします。注意して作業してください。

●スプラッシュガード(はね防止板)を使いましょう。



●ロートを使うと作業がしやすくなります。



5

現像

現像タンクにDK5-CDを18ℓ投入します(1箱分+8ℓ)。残りの現像液(2ℓ)は現像補充タンクに入れます。現像ラックは、まだタンクへセットしないでください。

●現像液2ℓはビーカーを使って測ります。

- ビーカーは良く洗ってから使ってください。



6

現像

現像タンクに現像スターターDK5-01を1本、1箇所に集中しないように投入します。

(一箇所に集中して投入すると急なpH低下で液に異常が起きて使えなくなる事があります)



!

電源を入れる前に循環フィルターのキャップが閉まっているか確認しましょう。

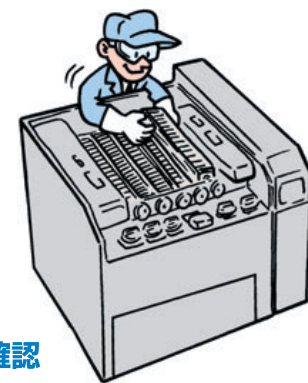
7

現像

現像ラックを現像タンクに戻し、電源を入れます。

(現像部天板開エラーが出ますが、プザーカットキーを押して作業を継続してください。)

●ギヤがきちんとかみ合っているか確認



8

現像

安定

現像・安定タンクにオーバーフローするところまで水を加えます。

- ロートは良く洗ってから使ってください。

9

定着

定着タンクにオーバーフローするところまで定着液を加えます。
残りの定着液は、定着補充タンクに入れます。

渡りガイドを取付け、天板を閉めます。

以上で作業完了です。処理液がこぼれた所はよく水拭きしてください。

処理液交換日															
ラック清掃日															
作業者名															

コニカミノルタ グラフィックイメージング株式会社 ●何かご不明なときは

本 社 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-2 TEL 03(6297)5602
 関 西 支 社 〒550-0005 大阪市西区西本町 2-3-10 西本町インテスビル13F TEL 06(6110)0515
 札幌支店 〒060-0003 札幌市中央区北三条 1-1-1 ナショナルビル7F TEL 011(261)7802
 東北支社 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡 5-12-55 NAVISビル 4F TEL 022(792)8007
 名古屋支社 〒460-0008 名古屋市中区栄 2-3-1 名古屋広小路ビル 10F TEL 052(231)6277
 中国支社 〒730-0037 広島市中区中町 8-6 フジビル 1F TEL 082(244)2060
 九州支社 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前 1-4-4 安田生命博多ビル 8F TEL 092(477)2555
 ホームページアドレス http://konicaminolta.jp